

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		第 3 3 回 相模原市地域包括支援センター運営協議会				
事務局 (担当課)		保険高齢部地域包括ケア推進課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 9 2 3 1 (直通)				
開催日時		令和 2 年 1 月 2 3 日 (木) 1 5 時 1 5 分 ~ 1 6 時 3 5 分				
開催場所		ウェルネスさがみはら 3 階 集団指導室				
出席者	委員	1 9 人 (別紙のとおり)				
	その他					
	事務局	7 人 (保険高齢部長、地域包括ケア推進課長ほか 5 人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 議題 ( 1 ) 会長選出 ( 2 ) 令和元年度高齢者支援センター第三者評価結果について ( 3 ) 令和 2 年度相模原市高齢者支援センター運営方針 (案) について ( 4 ) 令和 2 年度相模原市地域包括支援センター公募の実施について 3 報告 ( 1 ) 高齢者支援センターの事務室移転について 4 その他 ( 1 ) 令和 2 年度健康福祉局の組織改編の概要について 5 閉会				

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。( 〃 は委員の発言、 〃 は事務局の発言 )

### 1 開会

### 2 議題

・事務局より資料に基づき説明を行った。

#### ( 1 ) 会長選出

・互選により、会長に相模原市医師会の水上委員を選出した。

#### ( 2 ) 令和元年度高齢者支援センター第三者評価結果について

個別事例部会と地域ケア会議の連動性が難しくなったセンターが多いとあるが、その数はいくつか教えていただきたい。

センターヒアリングにおいて、複数のセンターから、会議体制の見直し後に開催数が減っていること、開催が難しくなったとの意見があったため、多いと示した。

客観的評価、それに基づくデータは重要であり、今後評価に加えていくとよい。

地域づくり部会と個別事例部会の構成員は異なるのか

基本的には異なる。個別事例部会は開催する内容により参加者は異なる。例えば地域の自治会員や民生委員など、地域づくり部会員が個別事例部会に出席することはある。

#### ( 3 ) 令和2年度相模原市高齢者支援センター運営方針(案)について

センター運営方針は非常に重要であり、骨太であるべきであるもの。センター職員が使用するものであり、高齢者保健福祉計画が変わる等根拠がなければ、変更する必要はないのではないか。新旧対照表で変更点を示したほうがよい。

重点目標1(1)ア 以前は「シニアサポート活動を含む通いの場」として多様な活動としていたが、今回の案はシニアサポート活動のみとし、範囲を狭めている。変更する必要はないのではないか。

重点目標1(1)イ 権利擁護に関する支援の推進は、これまで「さがみはら成年後見・あんしんセンターや専門家団体との連携強化」としていたところから変更しているが、関係機関との連携強化は以前の文章でも記載されており、変更する必要はないのではないか。成年後見・あんしんセンターも重要であるが、家族信託等も重要であり、前回の表現がよいのではないか。

高齢者支援センター職員からの意見を吸い上げ、行政で検討した上で協議会へ提案をしているものと思うがいかがか。

センターの意見を聞き、よりわかりやすい表現へと修正をし、今回の提案をした。協議会でいただいた意見を踏まえ、事務局でさらに検討をしたい。

重点目標1(1)アのシニアサポート活動については、シニアサポート活動未実施圏域の解消を目指すとの記載もあり、シニアサポート活動に限定することでよいのではないか。また権利擁護に携わる専門団体は多様にあり、さがみはら成年後見・あんしんセンターと特化せず、幅広く表現をした今回の案でよいのではないか。

シニアサポート活動の未実施圏域の解消に向けた支援を継続していること、また、セン

ター職員の意見も踏まえ、案のように表現したが、運営方針については、事務局で再検討を行いたい。

センターの支援の中で高齢者の意思決定支援は重要と思う。意思決定支援は、医療の中でも重要なテーマとなっている。地域でも考える必要があると思われるため、活動内容のどの部分に入るのかはわからないが、今後検討してほしい。

○昨年、医療介護の研修会で人生会議をテーマに取り上げ研修会を行った。高齢者支援の中で先のことを考える必要があると言われるかもしれないが、いつ何があるかわからない。亡くなったらどうなるのか、残された者はどうか等検討していく必要があると感じている。

資料2 - 2 ( 1 ) 令和元年度の目標として記載されているが、令和2年度の運営方針であり誤りではないか。

表現の誤りがあり、修正する。

( 4 ) 令和2年度相模原市地域包括支援センター公募の実施について

審査基準・審査項目について、見直すとしているが、具体的にどのように見直していくのか。もっと踏み込んだ提案をしてほしい。

公募スケジュールとして、4月に募集告知を予定している。この頃までに検討をし、提案審査項目や配点を決定していきたい。会議を設けることは難しいと考えるが、検討した内容を郵送等で提案し意見を伺いたい。その意見を踏まえ、決定していきたい。

設置場所について市民の利便性の高い場所に設置できるように、とあるが移転に関する費用は運営法人の負担なのか。

市が委託料として負担するのは事務所の賃借料である。

選考委員会の委員構成は現在の部署名であるが、組織改編後の組織に照らし合わせるとどう変わるのか。

保険高齢部長は地域包括ケア推進部長、高齢政策課長は高齢・障害者福祉課長、介護保険課は変更なし、各区の高齢者相談課長は高齢・障害者相談課長が該当する見込みである。また地域包括ケア推進課は公募を所管する部署であるため、選考委員会には含めない。

### 3 報告

( 1 ) 高齢者支援センターの事務室移転について

### 4 その他

( 1 ) 令和2年度健康福祉局の組織改編の概要について

他の自治体で今回の相模原のような組織編成をしている自治体があれば教えてほしい。指定都市の状況は様々である。部として高齢・障害を同じ部としているところは、すでにあるが、課について高齢や障害を合わせた組織とするのは本市のみである。指定都市の中でも比較的規模の小さい本市だからできる組織体制であると考えた。

### 5 閉会

以 上

## 相模原市地域包括支援センター運営協議会委員名簿

令和2年1月23日開催

		氏名	ふりがな	選出団体等	出欠
1	委員	油谷 和子	あぶらたに かずこ	神奈川県看護協会相模原支部	出席
2	委員	石川 寿美子	いしかわ すみこ	相模原市介護老人保健施設協議会	欠席
3	委員	石黒 雄彦	いしぐる たけひこ	相模原市老人クラブ連合会	出席
4	委員	木村 俊明	きむら としあき	公募市民	出席
5	委員	木村 徳泰	きむら のりやす	日本労働組合総合連合会 相模原地域連合	出席
6	委員	小林 立	こばやし りゅう	相模原市高齢者福祉施設協議会	出席
7	副会長	小山 聡	こやま さとし	さがみはら介護支援専門員の会	出席
8	委員	笹野 章央	ささの あきお	相模原市社会福祉協議会	出席
9	委員	高澤 厚子	たかざわ あつこ	神奈川県社会保険労務士会 相模原支部	出席
10	委員	田所 利一	たどころ としかず	公募市民	出席
11	委員	田中 雄一郎	たなか ゆういちろう	相模原市歯科医師会	出席
12	委員	富樫 るみ	とがし るみ	友知草の会	出席
13	委員	西田 洋子	にしだ ひろこ	相模原市民生委員児童委員協議会	出席
14	委員	原田 裕也	はらだ ゆうや	神奈川県弁護士会相模原支部	出席
15	委員	久松 信夫	ひさまつ のぶお	学識経験者	出席
16	委員	福本 容子	ふくもと ようこ	公募市民	出席
17	委員	舟戸 麻衣	ふなど まい	日本公認会計士協会神奈川県会	出席
18	委員	穂苅 健二	ほかり けんじ	相模原市自治会連合会	出席
19	委員	松岡 一美	まつおか かずみ	神奈川県社会福祉士会相模原支部	出席
20	会長	水上 潤哉	みずかみ じゅんや	相模原市医師会	出席

\*五十音順